

一株運動が活発化

水俣病を告発する会 チツソ総会控えて

【大阪】水俣病患者を中心に「一株運動」などでチツソ株式会社の公害責任を追及している東京、大阪、熊本、福岡、名古屋など各地の「水俣病を告発する会」の動きは、十一月下旬に大阪で予定されている同社の株主総会を間近に控え、活発化し始めた。

まず当面の行動予定をみてみると▽二日夜、大阪市阿倍野区で大阪地区の「一株主総会」▽五日神戸・水俣病を告発する会結成▽七日、堺市民会館で堺の一株主総会、関大法学部主催「水俣病模擬裁判」（大阪・今橋・日経ホール）▽九日、大阪市北区・太融寺

で水俣病現地報告会▽十二日、枚方市民会館で一株主総会▽名古屋で告発する会の総会▽十九日、東京で「模擬株主総会」▽二十日、全国から告発する会代表が大阪に集まりチツソ総会対策で最終作戦会議とスケジュールはぎっしり。

この間、大阪の告発する会（中江見世話人代表、株主千二十人）では梅田地下街で京都の前衛劇団「京都ドラマ劇場」の応援で「劇・水俣」上演を計画、二十五日以降に予定されているチツソ株主総会では、会社側が三百人収容の会場しか用意していないのを不満として扇町公園を数日間借り切り、千数百人の「一株主」を待機させ、総会でチツソ役員が責任を明らかにしなかった場合は、用意し

たバスで全員が会場に乗り込む構えをみせている。

一方、十九日の東京・模擬株主総会、二十日熊本地裁で開かれる第七回水俣裁判をきっかけに東西から大阪の株主総会目ざして患者らを中心とする「水俣巡礼団」が出発する。大阪の告発する会では、いまその受け入れ準備、総会対策などに大わらわ。先月末、大阪市北区の告発する会事務所が開かれた世話人会では街頭カンパ行動強化を決めるなど、総会への行動は急激に盛り上がっている。